

◎ 日拓の企業理念は技術より思想（考え方）が大事だ。「三方良し」の理念に基づく実践
三方良しの理念は売り手の収益良し、買手の満足良し、世間良し。正しき追求。最高レベルの倫理を追求する
ミツンヨンつく

第一条 感動を創るは「感動を提供する」は街づくりで、街を育み、世の中の人々に「感動を満たす」

1 全てのステークホルダー顧客、従業員、取引先、株主、地域社会の信頼に込め、社会に利益をもたらす責任
2 持続可能な開発目標の達成に取り組み、共通価値創造と企業利益の両立、社会課題を解決、持続可能な共生社会の実現

まち ビジネス

第二条 街の未来を拓くは都心立地型商業不動産開発業を主体とした、エンターテインメント事業

1 自社店舗ビル資産を蓄積し、五十年先、百年先を見据えた「社会的な資産を形成し、社会に貢献すること」
2 ブランド価値の向上を目指すは立地条件の優劣こそ競争軸。販売促進活動を不要にし、自ずから売れること

パークフェクト

第三条 完全を目指すはこれまでよりも優れたもの、重要なもの、完全に近いものにした

1 自社ビルが利益の柱。首都圏の主要駅前の得難い超一等地の商業ビル賃貸で、長期的・安定的・継続的収益
(1) 長期に安定収益 (2) 含み益資産、(3) 換金性、転用性、(4) 管理簡単。定期賃貸借契約で賃料自動増減額
究極のストックビジネスは無借金店舗ビルを所有すること。其の人のスキルに依存しないビジネス
3 非上場の100%同族経営で、外部株主や四半期決算に左右されずに、長期的経営が出来る、自主独立自尊の経営
4 本業に徹する。一店一店の内容を充実。自己資本比率七十%を確保。売上規模拡大・多角化が会社を潰す
5 前金・日銭の入る現金商売・現金支払主義。人件費リスクとなる賃借店での出店や労働集約型事業はしない

チェンジ・バリュー・クリエーション

第四条 変化価値を創るは積極的に時代や環境の変化を先取りする変化こそが新しい価値を生む

1 不測の事態を想定して、最も効果的な対応を練習して置く。大震災、災害、大恐慌から、小さなトラブル迄
2 魚・鳥・虫の眼で時代の潮流、高い視点から大局を俯瞰し、現場の細部を把握。将来的に、全体的に、本質を追求
3 ダブルチェック。金銭関係や仕入など、ミスや不正を防止・発見。複数の部署や複数の人による牽制制度
4 事実・証拠・判例・根拠に基づいた「物語」を具体的に徹底学習し、役割練習し、次の実行に準備する経営
5 衆智を集結。一流の超専門家八人位に聞け。今がチャンスだと感じたら即断即決即行。朝令暮改でダメなら直せ

イノベーション

第五条 自己革新は時代の先を見据え、智慧を広く深く集め、正しい判断力で、物事を進める実行力

1 評価制度。社員によるサステナビリティ実践の物語りを全社で共有し皆で讃え合い、共感と共鳴の輪を拡大する
2 過去に縛られず、過去のを切り捨てる。市場の寿命、やり方、経験、常識、不良資産、人材、人脈、誇り
3 現場起点で現物、現状、細部を把握。自己否定、現状否定、現状打破。仮説・実行・検証・改善の早い繰り返し
4 現象の本質を見抜く力で全体の構図を、結論から、物語を、グラフ、数字を。相関図で、映像で視覚化して話せ
5 1P5W2Hで緊急度、最重要課題の優先順位から。何の目的、何を、誰が、いつ、どこで、どうやって、金額は幾ら

第六条 チーム経営は全社最適を第一に優先し。「知行合一」で、全社員一致協力、全部門連動体制

1 忠恕。全ての人に、色々な優しさ、温かい思いやりの心と敬意を払って接し、「感動を提供する」のが仕事の楽しさだ
2 小企業精神。簡素な組織。小さな本社。売上規模に応じて伸び縮みできる仕組み。日常的に組織と権限の流動化
3 物事を単純化せよ。組織の硬直化、前例主義、マンネリ化を打破、ゼロ発想、事を省く、減らす事、経費細分化
4 マルチタスクを最重視する経営。一人が二役も三役もやらないと成長しない。個人プレー、分業体制、主化排除

第七条 人材の育成は会社にとっての人材を採用。長所を発見する配転教育。教育は全ての業務に優先する

1 徹底した合理性と共に、誰からも親しまれる円満な豊かな人間性を併せ持ち。この人の為ならと思わせる人徳
2 4Eリーダーシップの発揮。(1) 強烈な情熱、(2) 士気を鼓舞し、(3) 鋭利な判断・決断力、(4) 企業理念に一貫した実行力
3 EQが高く、人情の機微に鋭敏で、計数に明るい。自分や周囲の人の心・感情を理性で制御・調節する力。
4 ATM。いつも明るく、楽しく、前向きに。驕りや傲慢さが、災いを招く。謙虚に感謝して、誠実に生きる、真摯さ